



くらぼし

舞鶴市立倉梯小学校

学校だより

令和4年10月25日 No8

チャレンジ ～新型コロナが広まって1000日～

日本で初の新型コロナが確認された令和2年1月15日から起算して1000日目となる10月11日。運動会も無事終了した休み明けの全校朝礼です。運動会での頑張りを褒めるとともに、この1000日という長い間、みんなが頑張ってきたこと、世界中が新型コロナと闘ってきたことを振り返りました。同時にいずれ歴史になるであろう、この1000日をみんなの言葉で記録して残しておこうと呼びかけました。ちょうど2年前の2学期終業式にも同じ呼びかけをし、「どんな時も たくさん乗り越えた1年間 2020」を冊子にまとめたのと同じ取組です。本号のタイトルも児童の作文の題名からとりあげました。(冊子のタイトルは選定中)

きっかけはコロナが世界中で流行りだした2020の4月にイタリアの数学者パオロ・ジオルダノ氏の「コロナの時代の僕ら」を手にしたことです。あとがきに「コロナが過ぎた後も僕が忘れたくないこと」として、9つの事が述べられ、何に元通りになってもらいたくて、何になってほしくないのかを人々に問いかけています。子ども達のこの1000日も忘れてはいけない事実の記録だと考えました。

コロナが流行した2020年は同時に小学校での新学習指導要領が全面実施された年でした。けれども、学校は相次ぐ休校と感染対策に追われ、その具体を対面でお伝えする場を持ってないままでした。WITH コロナと言われる今、「1000日の記録を確かな歴史として引き継ぐとともに、様々な変革にチャレンジする」。集まった作文からそんなエネルギーを受け取っています。

2学期も後半となりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

校長 亀井 貴子

10月「ぐーんと」

正門右手の小さな花壇で可憐にさいている「タマスダレ」です。すだれのような下草から勢いよく茎を伸ばし花を咲かせます。その美しさは目を引くものがあります。



1本1本の茎は細いものですが、長く伸びた姿はなんだか勇ましくも見えます。薄い花びらもピンとはって、「ぐーんと」手を挙げて発表している子ども達にも重なります。

運動会が終わってよいよ充実の秋。この花のように胸をはって堂々と学ぶ倉梯っ子に期待しています。



小中一貫コーナー 「あおばの風」

目指す姿(明るく意欲的に学ぶ子・思いやりのある子・ねばり強く挑戦する子) 「その6 明るく意欲的に学ぶ子」

入学間もない1年生を中心に音楽の時間に学習する鍵盤ハーモニカですが、今は感染対策で使用に制限をかけています。そこで活躍するのが「タブレット」。アプリを使って鍵盤を鳴らしています。「ガレツジ・バンドを開けて」の指示でタブレットが鍵盤に早変わり！演奏が始まりました。



とっても楽しそう！みんな上手で演奏もばっちり。すごいです。

ホームページ情報

9月20日～

- ・運動会全校練習 9/27
- ・2年生「図書館リモート探検」 9/28
- ・教育実習生の研究授業 9/28
- ・4年生「聾学校舞鶴分校の友達と交流」 10/3
- ・PTA力結集「グラウンド整備」 10/8
- ・「全力」「挑戦」運動会 10/9

その他運動会での各学年の様子も発信しています。

